



令和元年 7 月 10 日発行

小暑を過ぎ、いよいよ夏本番といったところです。皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より「よつば・にこる」をご利用下さり、まことにありがとうございます。

気がつけば令和元年も 7 月に入り、残すところ半分となりました。気温も湿度も高く、だらけがちになってしまいますが、1 年の折り返しということで、気分も新たに改めて気持ちを引き締めていきたいと思います。



さて、多くの学校では今月 26 日付近から夏休みが始まりますね。毎年、夏休み明けに学校への行き渋りをしてしまうお子様が多くいらっしゃいます。夏休み中も、通常と同じペースで「にこる」を利用していただくと、リズムを崩さずに規則正しい生活を送りやすくなる為、長期休暇明けも、すんなり学校生活に入れるようです。



夏休み期間中は、通常の外出プログラムよりも遠くへ行くことがあります。そのため、帰りの送迎ルートがいつもと異なる場合があり、ご自宅への到着時間が、いつもの時間と大きく変わる可能性があります。また、外出先から「にこる」に戻ってくる時刻の都合上、保護者様によるお迎えができなかったり、時間を指定させていただくこともありますので、都度お知らせを配布いたします。そちらをご確認ください。「にこるからの帰り」について、ご迷惑をおかけする日も出てくるかもしれませんのでご了承ください。



夏休みは、行事予定に関わらず外出することもあります。その際に、サンダル(クロックスのようなものも含みます)履きですと、外遊びも、屋内(エスカレーターなど)も危険な場合がありますので、靴を履いて登所くださるようお願い致します。なお、水遊びの時など、サンダルが必要な時には、「にこる」から事前にお知らせ致しますので、よろしくお願い致します。

6月の活動プログラム プレイバック

6/8(土)「わすれものはしないぞ！もちものチェックボードをつくろう！」

よつば・にこるで、保護者の方がお子さまの気になる点として多く挙げられるのが「宿題」「忘れ物」「片付け」です。今回は「忘れ物」に着目し、まずは、にこるへの持ち物を【自分で】確認することから始めてみよう！というものをつくりました。

作業としては

- ①イラストに色を塗る、模様をつける
- ②線に沿って切る
- ③ラミネートフィルムにはさむ
- ④ラミネートする
- ⑤パーツごとに切る
- ⑥マグネットを貼る

午前に①～③を、午後に⑤、⑥を、1日かけて行いました。④はお昼に職員が行いました。

完成したものは、持ち帰ってもらいました。早速、実際に使ってくれているお子さんがいるのが、ものすごくうれしいです。



6/15(土)「ころころるんるん ビー玉コースターをつくろう！」

道具や材料はこんな感じです
セロハンテープ、ボンド、ハサミ。
工作には定番の道具ですね
なるほど！ボードと牛乳パック、ペットボトル
の口の部分、それにクレヨンです



ええと・・・ティッシュ？
ああ、ボンドが周りについたら拭き取るのかな？
ん？メモ？工程でもメモするのかな？



そして完成品はこちら↓↓



上からビー玉を転がして、ペットボトルの口に入れるんです！
完成すると、お友達の作ったやつと組み合わせて長いコースターにして遊んでいました！お子さまたちから、自然発生的に良いアイディアが出てきます！

良いアイディアといえば・・・
裏面は、メモが書けるようになっており、ティッシュも付いています(笑)



8月の活動プログラム ピックアップ

8/7(水)「そうだ！だちょうカフェに行こう！」

にこるの外出の定番となりつつある「つなぐ」さんに伺います！昨年、特製お弁当を食べたり、スプリングラーで水遊びをしたりして、とても楽しくて充実した、夏の「つなぐ」さん。今回も事前に希望をとり、お弁当やデザート(共に実費)を現地で用意していただくことも可能です。なお、保護者の方の参加も大歓迎です。保護者の方は現地へ直接お越し頂くことにはなりますが、そちらもあわせてご検討ください。後日、より詳しいおたよりを配布いたします。



8/9(金)「にこる調査団！給食センターの秘密を追え！！」



門屋学校給食センターにて、潜入調査をいたします。見学、DVD鑑賞、体験を通して、学校給食について知ること、そして食事についての興味・関心をもつこと、ご家庭でつくってもらえる食事やお弁当への感謝にまで繋がればいいな、と思います。

8/23(金)「住友ベークライト ビオトープへいこう！！」

藤枝にある住友ベークライトには、2017年4月から公開されている「憩いの杜」というビオトープがあります。

ビオトープとは生物生息空間のことだそうです。

浅い水辺は水温が高く様々な水生生物の隠れ家となりミナメダカなどの魚類、トノサマガエル、ゲンゴロウ類などの水生昆虫が、林にはアラカシ、クヌギ、マテバシイ、コナラなどのいろいろなドングリの木が、浮島



島周辺の水中には島の陰に稚魚やヤゴなどが集まり、安全な陸部にはイシガメや水鳥が体を休めているそうです。

木々の鮮やかな緑や香り、生きものの鳴き声や羽音など、視覚・嗅覚・聴覚への心地よい刺激があるのではないのでしょうか。

8/24(土)「ハンバーガーショップ～にこるナルド～開店！」

「ロールパンサンドのお店 にこウェイ」「カレーハウス nico 壺番屋」に続く、「本家に怒られるんじゃないかとビクビクしてしまうお店シリーズ(笑)」第3弾！！今回は、「にこるナルド」略して「ニック」、関西では「ニコル(『コ』にアクセント)」でござい。名前だけでは、何のお店かわからないと思いますが、ハンバーガー屋さんです。今回も「お店屋さん役」「お客さん役」の両方に扮して行きます！



にこるのコラム —にこらむ 10—

こんにちは、「にこらむ」です。今回は指導員 鈴木の身の上話です。

鈴木は小中学生の時から、忘れ物や物を失くすことが多く、片付けができない子であり、授業中や集まりなどは、かなりの割合で寝ていました。また、珍しく起きている授業中であっても周囲の様子が気になってソワソワしたり、授業のペースが合わなかったり、加えて、赤面症だということもあり、授業や人が集まるような時間や場所は本当に苦痛でした。

すると「やる気がないからだ!」「なんで当たり前のことができないんだ!」「みんなはやってるぞ!」と言われてたりして……そんな状況だったので、「自分はダメな人間なんだな」と思うようになり、何に対しても、意欲を持てませんでした。

ちなみに、数年前に病院に行って検査してわかったのですが、「睡眠時無呼吸症候群」でした。一晩で400回ほど呼吸が止まっているそうです(「呼吸が1回止まる」が、どういうことなのかはわかりませんが)。今では、CPAPという装置をつけて寝ています。

今なら、「多くの人が無意識にしていることが、自分には無意識にできなかったんだな」ということがわかります。そして、自分が無意識にできていることを相手にも当て込んで「当然できるでしょ?」というスタンスで対応されることの辛さがよくわかります。

鈴木のつまずきの1つは、「寝ているときに呼吸が止まってしまうこと」でした。装置をつけて寝ることの不便さがありますが、困り感のいくつかは、それで解消されています。

だからこそ、「にこる」を御利用のお子さまたちに対しては、個々の「つまずき」を捉えたいですし、一人ひとりの、「鈴木で言うところのCPAP」を見つけるお手伝いをしていきたいです。

放課後等デイサービス

よっぱ・にこる

〒422-8042

駿河区石田1丁目19-2
メゾン石田1F

HP <https://kurura.com/>

TEL 054-269-5128

FAX 054-269-5129

お気軽にご連絡
くださいますら~

